

## 新年ご挨拶

## 期待したい新会員諸氏の作品

会長 合原 一夫

OMCの皆様、あけましてお目でございます。昨年はOMCにとって一つの転機となった年でした。新しく大阪アマチュア映像連盟の発足とそれに伴う映像祭の実現、およびビデオ雑誌や例会場においた広報ピラ等を通じて、OMCの存在をお知りになった新しい方の入会が多くあり、会の活気が出てきたこと、またOMC単独開催の映像フェスティバルも大盛況であったことなど、特筆すべき年だったと思います。今年の新年会申込者も例年なら、関西シネクラブとの共催で16～18名程度のところ、OMC単独開催にも拘わらず24名の多くの方の申込を頂きました。OMCがますます発展する兆しのようにも思えて嬉しく思うのと同時に、世話役として責任の重さを感じているところで

す。  
 今年の課題は、新しい会員諸氏がいかに気楽に作品を持参していただくか、そして皆さんの助言を得てどう映像作品として向上されていくかという点だと思います。例会はお互いに作品を見せ合って楽しむほか、勉強の場でもあります。また恒例の公開映写会の質的維持向上を如何に図っていくかも、ベテランも含めて課題だと思います。少なくとも年1～2本はどこに出しても恥ずかしくない自信作を目標にしたいものです。

## 1月18日 新年会をお忘れなく！

18時より、千日前法善寺横にある「和食・さと」店にて。

## 1月例会のお知らせ

平成も改まり2桁の10年、今年最初の例会は24日(第4土曜日)午後6時より、阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3F)で開催します。どしどし作品を持ってきて披露して下さい。新しい入会の方の作品特に歓迎。今年も楽しい例会にしましょう。

# 12月例会のレポート

今年最後の例会はいつもより1週早めて第3土曜日20日に行われました。年末のなにかと多忙なる時期のために出席数が懸念されましたが、やはり例会を楽しみに作品づくりに取組んでおられる人も多く、16名の出席と10本の作品が出て時間一杯のますますの盛会となりました。今月から新たに3名の新入会員を拍手で迎えました。

## ■新入会員の皆さんをご紹介します

森下仙丈さん 住所〒55-0022大阪市西淀川区柏里3-1-31 デジデンス早野  
701号 TEL06-472-2197

ひとこと：公開映写会で皆さんの素晴らしい作品を見せていただき、私も勉強したくなりました。ビデオを手がけて3年になります。どうぞよろしく。

田邑芳潤さん 住所〒567-0805茨木市橋の内3-12-14 TEL0726-37-9255

ひとこと：ビデオを撮るには撮っていますが、どうまとめていいかわからず、教わりたいと思っています。機材はいろいろ持っていますが、扱い方もよく分からずにいます。

金子博泰さん 住所〒555-0012大阪市西淀川区御幣島1-3-25 TEL06-471-2666

ひとこと：私もついにビデオを始めました。ビデオはまだ初心者ですので、どうぞよろしくお願いします。（注）金子さんは8ミリフィルムでは最近まで熱心に作品を作っておられ、フィルム時代のOMCに在籍しておられた方です。

以上で新入会員の紹介も終わり、早速上映に入りました。今月の司会は関さん、書記は合原さん、デッキ係りは前田さんの担当で進行しました。

■今月の出席者：奥、江村、金子、有村、上総、合原、関、今井、那須、田邑、森、森下、増池、前田、渡辺、松本の各氏（16名）

## ■上映作品

1)色即是空 金子博泰さん 5分11秒

新入会のご挨拶がわりに早速持参された作品で、ビデオ3作目だとか。8ミリフィルム時代に鍛えた腕で、がっちりと三脚をかまえて落ち着いた画面になっていますが、動きが少なくスライド的で、映像作品としては少しもの足りません。BGMも途中で音量が変わるのも気になります。面白い題材ですので、もう一度挑戦されては如何でしょう。

2)明石漁港 関剛さん 9分0秒

映像集団「地下街」撮影会のためにロケハンに行かれたときの映像とか。それにしてもしっとりとした漁港の雰囲気を描写されています。後半は魚のセリ状況と新鮮な魚のアップがよく撮影されていました。ラストカットのテ

トラポットのある風景は内容にそぐわないように思いました。漁港と漁船などの見える海のロングで静かに終わった方が印象が深くなったのではないのでしょうか。こういうテーマはやはりウィークデーで、皆が働いているときにダイナミックでよいようですが、勤め人が多いOMCでは無理？

- 3) 箕面の秋 森 保信さん 8分30秒  
肩乗せの大型ビデオカメラVX-9000で撮ったというだけあって画はきれいに撮られています。紅葉、溪流、魚、行楽客、猿、瀧と役者が揃っていて箕面の秋を描いておられます。11月16日に行われる祭の巫女は優雅ですが少し長すぎる様に思います。また、全般的に何か物足りない不満が残るのは、メリハリが少ないせいでしょうか。
- 4) 翼をください 有村 博さん 5分44秒  
某クラブのカラオケビデオコンテスト応募用に作られたもの。往年の氏の8ミリフィルム時代の名作「翼よ」のテレシネ画面をバックに自身が歌っているというひと味違った作品。歌詞も画面の下に出て、一応カラオケビデオの雰囲気を出しておられます。画面の色調、画質が悪いのはテレシネというハンデのためで致し方ありません。最後に字幕で「亡き友・小泉 明さんへ捧げます」というコメントは、いきさつを知らない人には恐らくなんのことか判らないと思います。ここはスーパーインポーズで「この映画の撮影のときに乗せていただいたパイロットの小泉 明さんは、その後愛機の事故で亡くなりました。」という説明が動くスーパーインポーズかナレーションで出した後に、「亡き友云々…」を出せば一般向けの作品として判りやすかったのではないかと思います。
- 5) エーゲ海クルーズ 那須典彦さん 9分35秒  
エーゲ海の青い海と空、白い建物、なかなか印象的な島巡りの旅です。船上の乗客も西洋人中心で異国情緒たっぷりです。車のない島、船かロバが交通機関という珍しい島が紹介されます。作者ご自身も入ったカットがありますが、少しすまし顔をしていて全体のムードにそぐわないのでは、という指摘もありました。しかし、一度はこうしたのんびりした豪華なムードの船旅を試してみたい、と思わせる作品でありました。
- 6) 河内の秋祭 江村一郎さん 7分20秒  
平岡神社の秋祭で、ふとん太鼓や露店の夜景が描かれています。露店ごしに見たふとん太鼓の御輿が行くカットなど、江村さんらしい優れたカットがいくつもありません。が、露店のカットが多すぎるためか、江村さんらしい切れ味の鋭いカットの連続が見られず、いささか平凡になったのは残念でした。撮影はVX-1000デジタルカメラで星マークにして撮られた由。夜間撮影で自動で撮るとゲインがあがって粒子が目立つものですが、これは黒の部分も締まっています。星マークの効果が出ています。
- 7) DHR-1000テスト 前田茂夫さん 5分00秒  
DHR-1000とは、今度ソニーから新しく出たデジタルビデオデッキのことで、早速これを買って求められてテストしたもの。アナログ編集とデジタル編集との違いを同じ映像で比較したもので、大変参考になりました。両者の違いが

際立って現れるというのではなく、よく見比べてみると画面の切れ味が少し違うかなあという気がしました。これが孫からひ孫へとダビングしていけばもっとその違いが出てくるはずです。それにしても貴重な実験データでした。

8) 上海の印象

合原一夫さん

7分15秒

上海は英国と中国との阿片戦争以来、外国との貿易の拠点として発展してきたところ、それだけに西洋の文化と東洋の文化が入り混じった国際都市です。以前はなかった高層テレビ塔が建っていて中国発展のシンボルのように見えます。画面の主要なところは裏町の中国人街にある食べ物なら何でも揃うと言う市場が紹介されています。以前に行かれた人の話では、今のようにトリ肉を加工して売るところはなく、丸ごと売っていたと懐かしがっておられました。画面不足で十分な映像作品として描き切れなかったと作者の弁、もう少し掘り下げた作品にするべく撮影してくるのだったと心残りがします。

9) 子供だんじり

前田茂夫さん

8分00秒

平野の杭全神社の秋祭の記録。稚児行列に次いで4台の子供だんじりが賑やかに町へくり出されます。子供のころから祭に親しみ、だんじりに接することで、平野の人達のだんじりを愛する気持ちが育まれていく、とのナレーションはよく理解できる適切な言葉です。映像的には今ひとつで、子供の楽しさ、親子のかかわり合い方などのカットや、或いは稽古の場面のカットがあれば、もっと奥行きのある作品に仕上がったのではないかと惜しまれます。

10) テニスツアー

増池 茂さん

9分00秒

増池さんは10月例会の「天神祭」に次いで2作目の作品かと思えます。これは初めて音入れをしたので、これでいいかどうか見てほしい、とのコメントで始まったもので、内容はテニス同好会?のメンバー達が湯原温泉へ旅行し、温泉に浸り、楽しい宴会、翌日はテニスでまた楽しむ、といった内容の記録。一泊旅行がねらいで、テニスをするのは付け足しのようにも思えるツアーであります。内容から見て題名の付け方が少し違和感があるのかも知れません。音入れはまず経験し慣れることで、こうした例会や二次会でもジックリとこの道の先輩達にアドバイスを受けることが上達の早道です。選曲も出来るだけ有名な曲や誰でも知っているポピュラーな曲は避けるのが無難です。現録やナレーションと音楽のミックス法など、一つ一つ段階的にマスターしていきましょう。そのためにOMCの皆さん、どなたでも気軽に話に乗ってくれるはずですよ。新入会員の皆さんも、この増池さんのように気兼ねなく作品(作品とまではいかないにしろ)を例会にお持ち下さるよう、お願いいたします。(講評 合原一夫)

## 1月17日「日本を横断する映像発表会」の件

申し訳ありませんが、当日お手すきの方は12時までに阿倍野市民学習センターへご来場いただき、会場設営にご協力願えたらと思います。椅子並べや受付設営、案内板掲示、映写設備設営手伝い等が主な仕事です。よろしくお願いたします。12時半、開場13時開幕、全体を3部構成で終映は18時半を予定しています。是非お出掛けください。